

授業科目 解剖学実習 II			科目コード番号	
【担当教員名】 ○山田まりえ、西野幾子、千葉正司	対象学年	1	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	60
【概要及び学習目標】				
<p><概略></p> <p>人体解剖全身模型、全身骨格標本、上肢・下肢模型、手・足の筋肉と血管模型、各種関節模型、関節別機能模型等の観察とスケッチを行う。ビデオ、パソコンによる骨組織、筋組織の顕微鏡標本の観察とスケッチも行う。</p> <p>上肢・下肢の表面観察、ならびに人体解剖実習の見学も行う。</p> <p><学習目標></p> <p>人体の運動器を詳細に観察することによって、運動器の解剖学的な理解を深め、運動学のための基礎を完全に習得する。</p>				
回数	学 習 の 主 題	学 習 内 容		学習方法
1	ガイダンス	実習の概要とオリエンテーション		実 習
2	組織学 1～4	筋組織・骨組織・軟骨組織の顕微鏡観察とスケッチ		〃
～				〃
5				〃
6	筋学 1～4	頭頸部・体幹の筋の観察とスケッチ		〃
～				〃
9				〃
10	筋学 5～8	上肢・下肢の筋の観察とスケッチ		〃
～				〃
13				〃
14	関節学 1～3	各種関節の骨標本の観察とスケッチ		〃
～				〃
16				〃
17	関節・靭帯学 1～4	各種関節の機能標本の観察とスケッチ		〃
～				〃
20				〃
21	体表観察 1	上肢の観察		〃
22	体表観察 2	下肢の観察		〃
23	上肢・下肢 1～6	人体解剖実習見学（新潟大学医学部）		〃
～				〃
28				〃
【評価方法】 実習態度、スケッチブック、レポート、実習テストの総合評価				
【履修上の留意点】 実習は標本の数により、全員が同じ順序で行えるとは限らないので注意すること。 実習では白衣を着用し、必要に応じて、パソコン、スケッチブック、色鉛筆等を持参すること。				
【使用図書】				
教科書・参考書等	書 名 等	著 者 名	発 行 所	発行年・価格・その他
教科書	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のための解剖学	渡辺 正仁	廣川書店	2000年 5500円
参考書	人体解剖カラーアトラス 人体解剖学	佐藤達夫訳 藤田恒太郎	南江堂 南江堂	2000年 5700円 2000年 9233円
その他 (プリント等)				